

今期に影響する改正事項と実務論点をチェック

12月決算の直前対策

- I 決算期変更、金融庁レビュー、マイナス金利
12月決算特有の会計処理・開示上の留意点
 - II 繰延税金資産・負債の表示区分に注意
税効果会計基準改正に伴う会計処理・開示のポイント
 - III 期末の評価、注記など
仮想通貨の会計処理ポイント
 - IV 新たに適用される主なIFRS等も整理
在外子会社等の会計処理のポイント
 - V 経過措置、改正案の内容など
収益認識基準の早期適用のポイント
 - VI 強制適用・早期適用を要確認
記述情報充実等の開示府令等改正のポイント
 - VII 開示対象、会社法と金商法の相違点など
関連当事者の開示に関する留意点
 - VIII 会計上の見積りへの影響にも留意
災害関連損失の会計処理のポイント
- 恒例企画 2019年12月決算関連資料一覧

今12月決算では、税効果会計基準の改正や記述情報充実等による開示府令の改正等などが行われ、特に留意する必要がある。その他改正された会計基準や各種法令、金融庁有報レビューに示された重点テーマ等の実務論点について、12月決算時の留意点を解説してもらった。巻末の決算資料一覧とあわせてご確認いただければ幸いである。